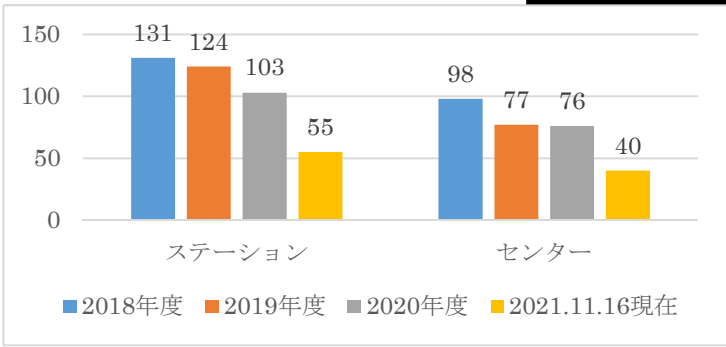
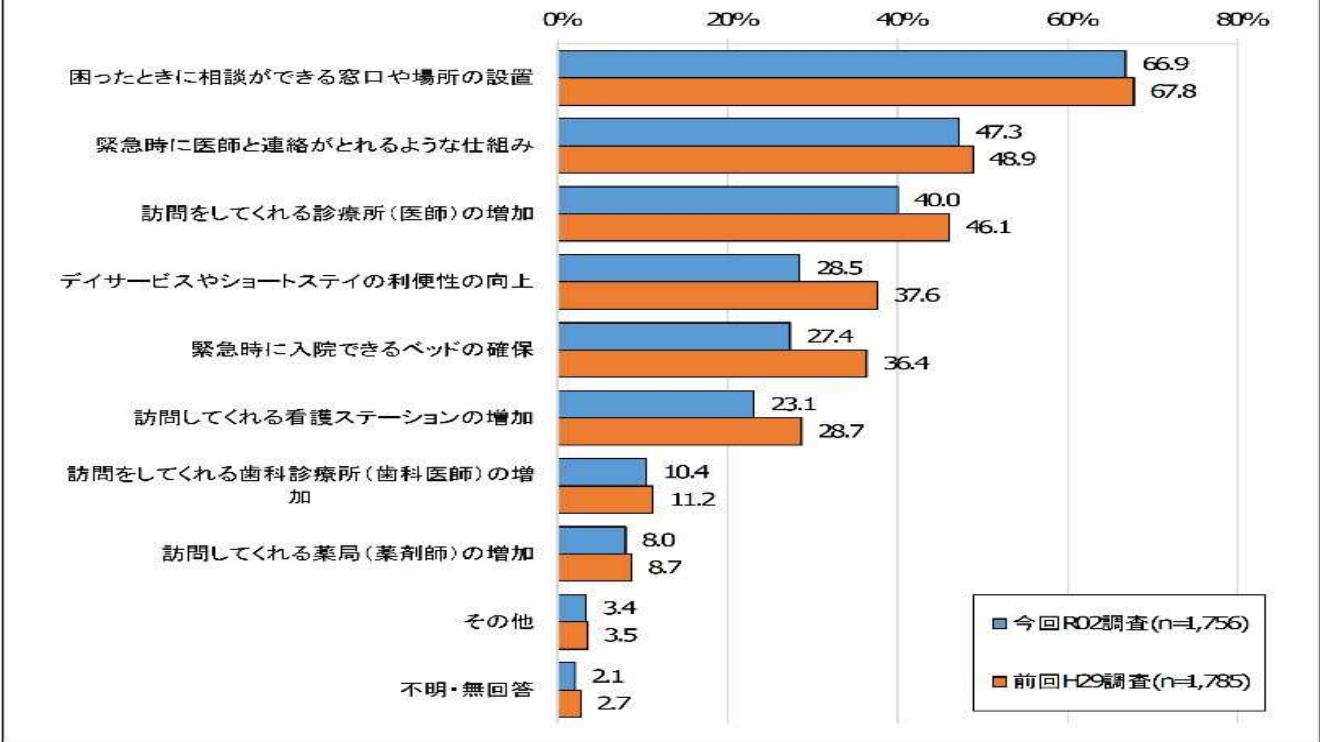


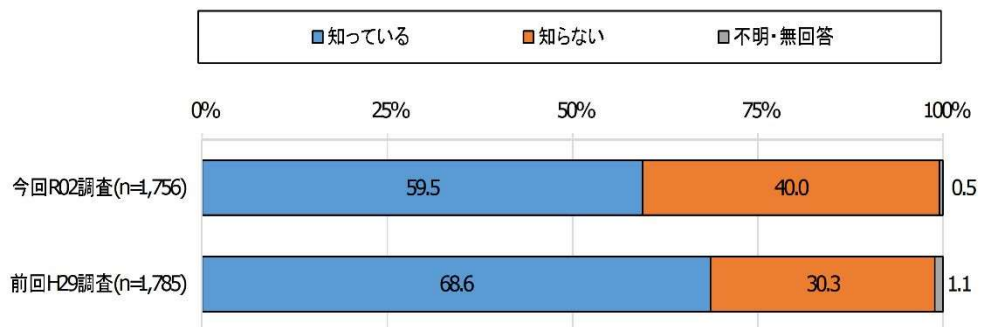
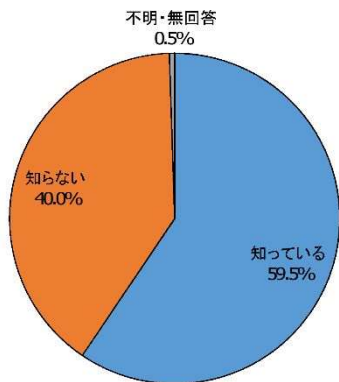
1. 連携センター・ステーションの相談件数



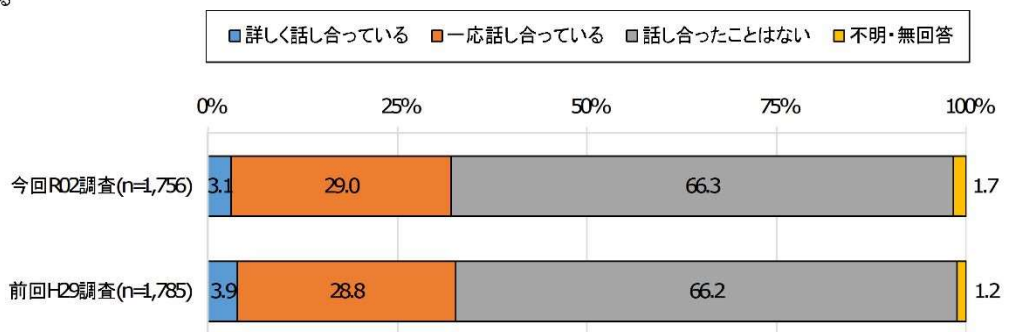
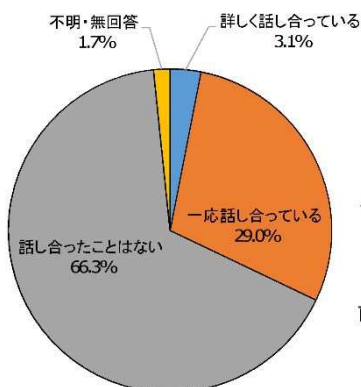
2. 在宅医療を推進していくために、何が必要だと思うこと (R2 年度新潟市医療に関する意識調査)



3. 在宅医療の認知度 (R2 年度新潟市医療に関する意識調査)



4. 人生の最終段階における医療・ケア (R2 年度新潟市医療に関する意識調査)



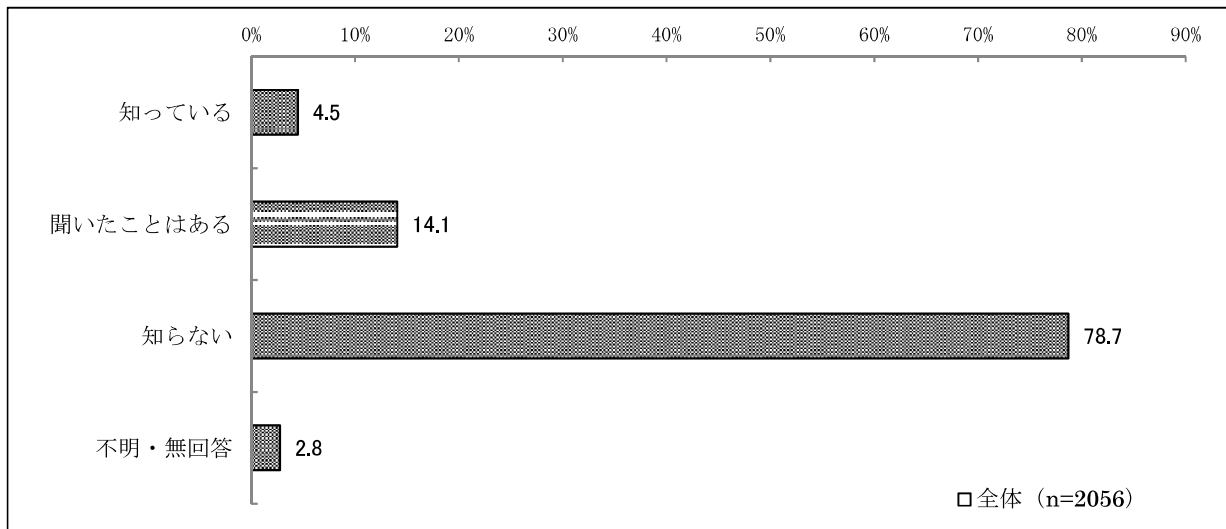
#### 4. 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて

##### (1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）・人生会議の認知度

問16 あなたはアドバンス・ケア・プランニング（ACP）※1や人生会議※2について知っていますか。（○は1つだけ）

※1…あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うこと

※2…国が決定したアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の愛称



#### — 「知っている」は1割未満 —

##### 【全体結果】

「知っている」(4.5%)は1割に満たなかった。「知らない」(78.7%)が約8割を占め、「聞いたことはある」(14.1%)が1割半ばとなった。

##### 【属性別結果】(次ページ図4-1参照)

##### ① 地区別

いずれの地域でも「知っている」は1割に満たなかった。

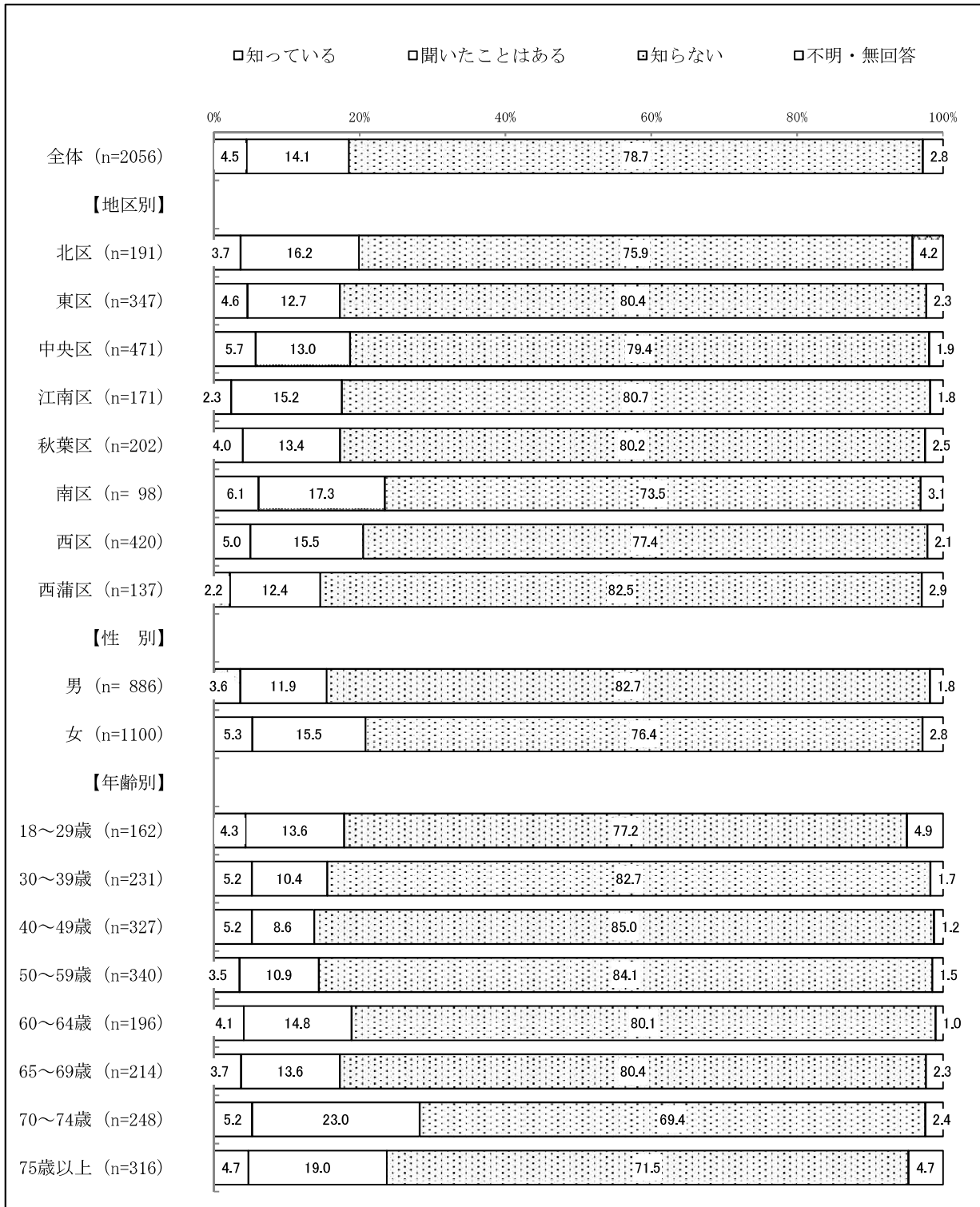
##### ② 性別

「知っている」、「聞いたことはある」については、男性(各3.6%、11.9%)と比較して、女性(各5.3%、15.5%)で割合がやや高い。

##### ③ 年齢別

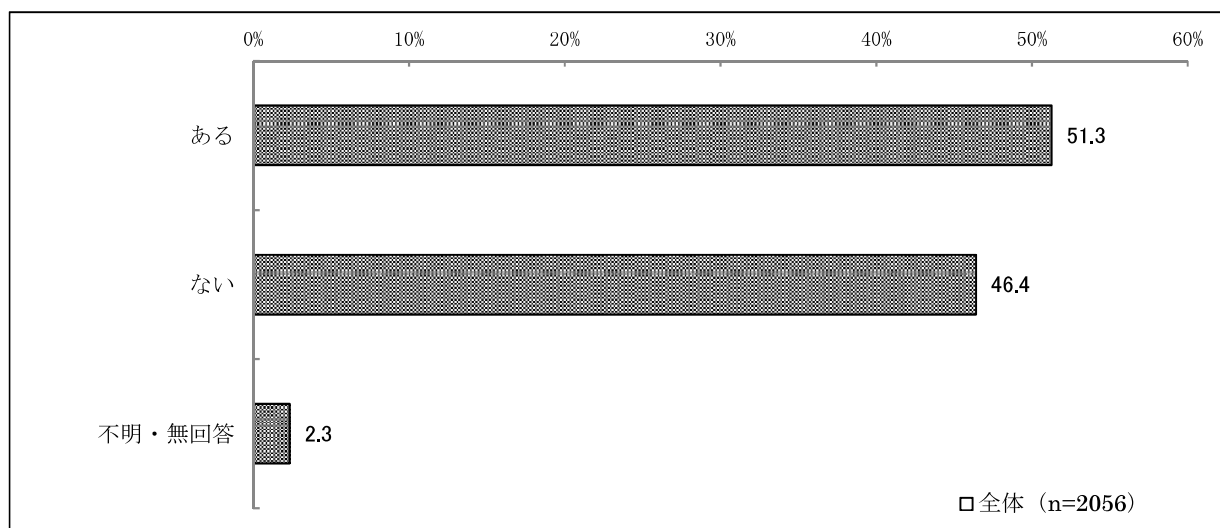
すべての年代で「知っている」は1割に満たなかった。「聞いたことはある」については、70～74歳(23.0%)で2割を超え、他の年代と比較して割合が高い。

図 4-1 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）・人生会議の認知度（地区別/性別/年齢別）



## (2) 人生の最終段階における医療・ケアについて

問17 あなたは人生の最終段階における医療・ケアについて、これまで考えたことはありますか。  
(〇は1つだけ)



— 「ある」は約5割 —

### 【全体結果】

「ある」(51.3%)は約5割、「ない」(46.4%)は4割半ばとなった。

### 【属性別結果】(次ページ図4-2参照)

#### ① 地区別

西区で「ある」(56.4%)の割合がやや高く、西蒲区で「ない」(54.0%)の割合がやや高い。

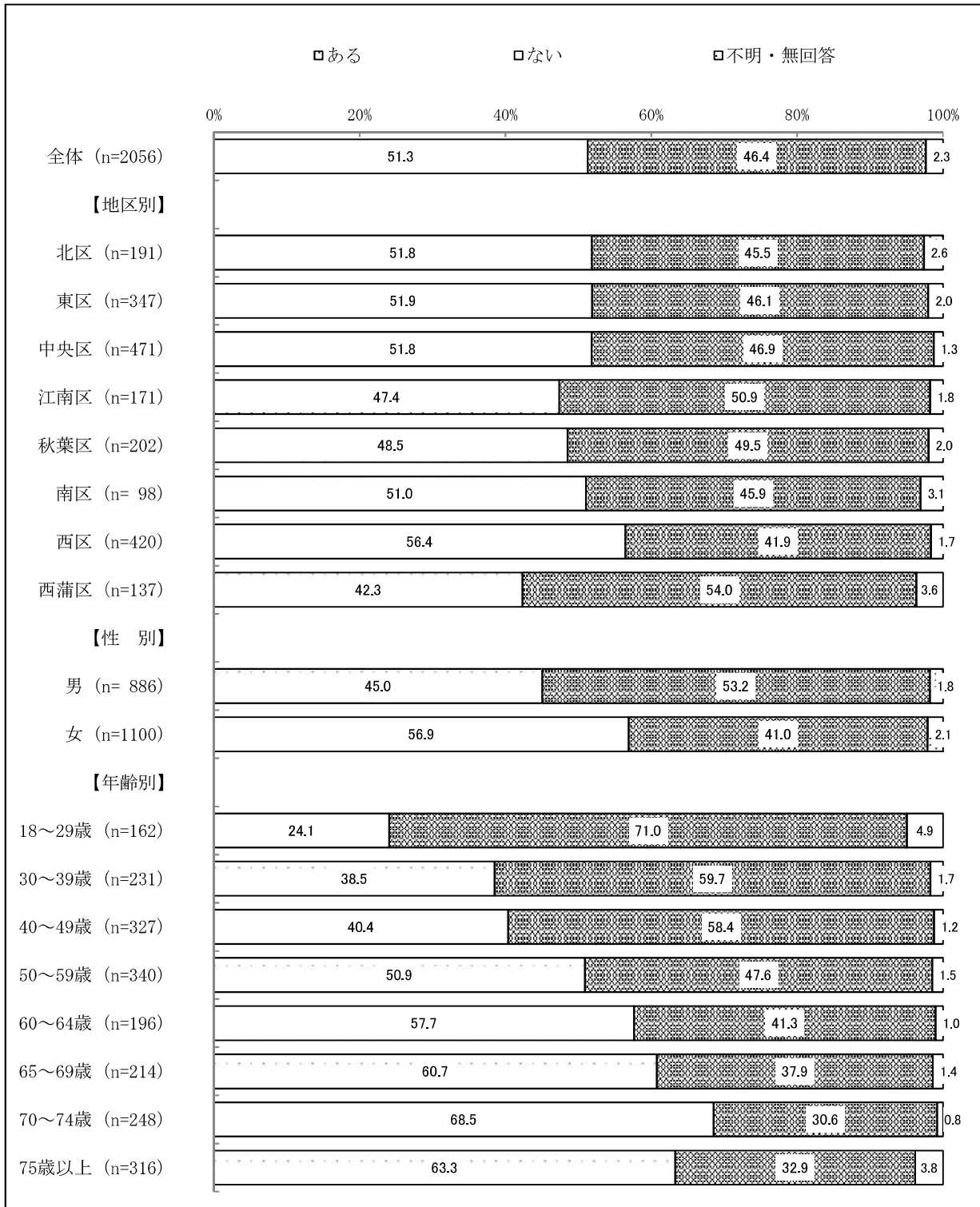
#### ② 性別

「ある」と回答した割合は、男性(45.0%)と比較して、女性(56.9%)で高い。

#### ③ 年齢別

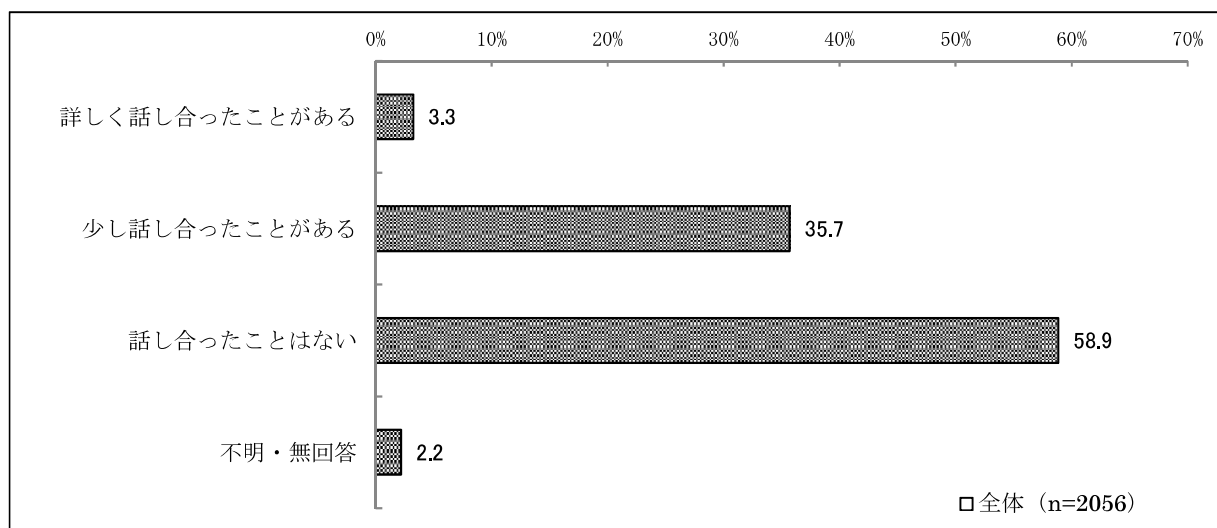
「ある」と回答した割合は、50歳以上で5割を超え、年代が高いほど割合も高い傾向にある。「ない」と回答した割合は、18~29歳(71.0%)で最も高く、約7割を占めた。

図 4-2 人生の最終段階における医療・ケアについて（地区別/性別/年齢別）



### (3) 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合いの有無

問18 あなたはご自分の人生の最終段階における医療・ケアについて、ご家庭や友人・知人、医療介護関係者とどれくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つだけ)



— 『話し合ったことがある』は約4割 —

#### 【全体結果】

「詳しく話し合ったことがある」(3.3%)、「少し話し合ったことがある」(35.7%)を合わせた『話し合ったことがある』(39.0%)は約4割となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図4-3参照)

##### ① 地区別

中央区、江南区、西蒲区を除くすべての地区で『話し合ったことがある』は、4割を超えた。

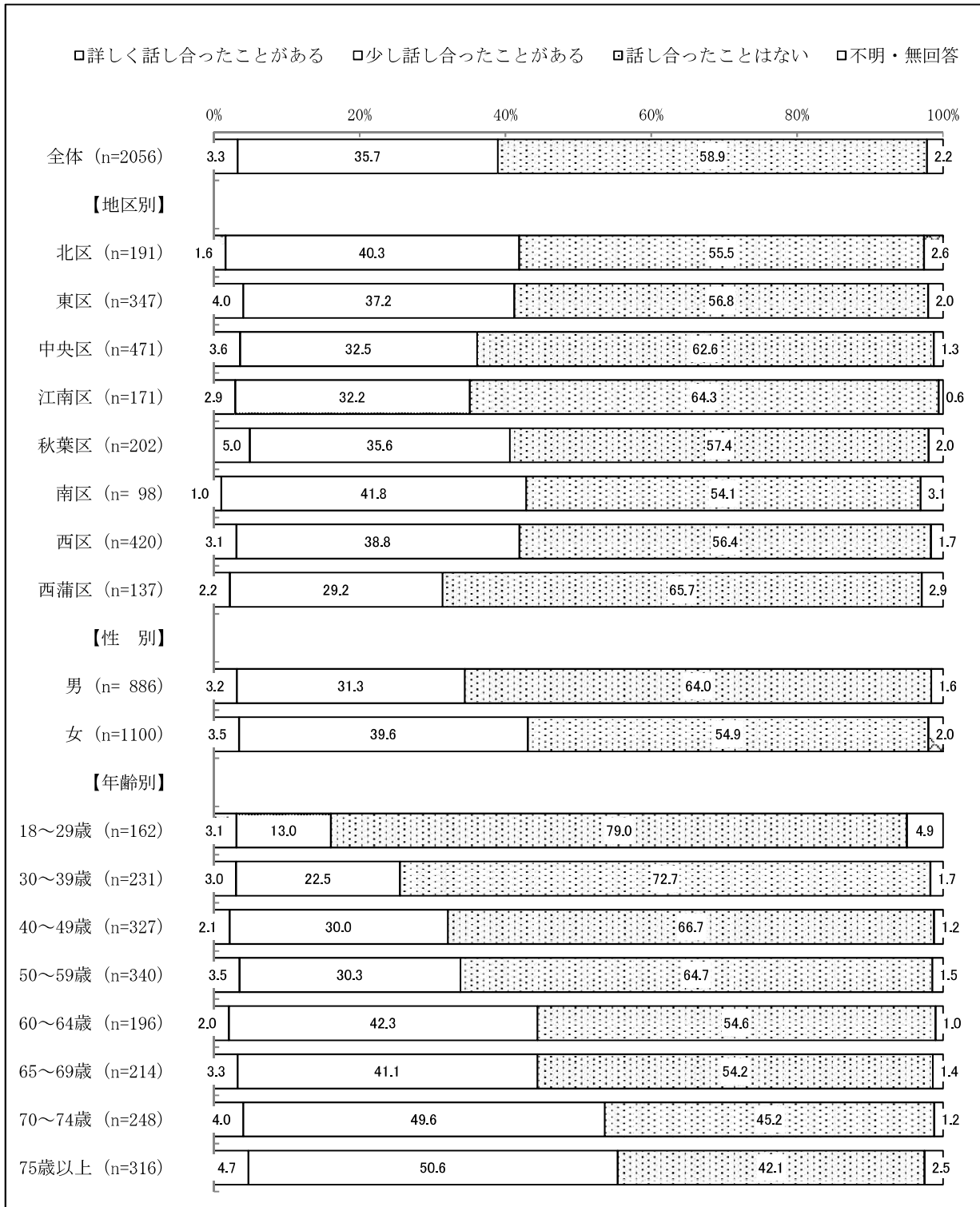
##### ② 性別

『話し合ったことがある』については、男性(34.4%)と比較して、女性(43.1%)で割合が高い。

##### ③ 年齢別

『話し合ったことがある』については、70歳以上で5割を超え、年代が高いほど割合も高い。18～29歳(16.0%)で最も低く、2割に満たなかった。

図 4-3 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合いの有無（地区別/性別/年齢別）



今後新たに訪問 を行う、または提供件数を増やすには何が必要とご思いますか。

